

第三者委員会、7氏で検証します 朝日新聞社の慰安婦報道

朝日新聞社の慰安婦報道について検証する第三者委員会の委員の方々が決まりました。弁護士や研究者、ジャーナリストら有識者7人で構成します。初会合は9日午後、東京都内で開きます。

委員長には、元名古屋高裁長官で弁護士の中込秀樹氏（73）に就任をお願いしました。委員は、外交評論家の岡本行夫氏（68）、国際大学学長の北岡伸一氏（66）、ジャーナリストの田原総一郎氏（80）、筑波大学名誉教授の波多野澄雄氏（67）、東京大学大学院情報学環教授の林香里氏（51）、ノンフィクション作家の保阪正康氏（74）の6人です。

また、朝日新聞が8月5、6日付朝刊に掲載した特集「慰安婦問題を考える」でもコメントを寄せていただいた現代史家の秦郁彦氏（81）のほか、神戸大学教授の木村幹氏（48）ら慰安婦問題に詳しい有識者をはじめ、委員会が必要と認めるテーマについて専門家をお招きし、ご意見やご提言をいただきます。

委員会では、これまでの朝日新聞の慰安婦報道をめぐる記事作成の背景や今回の記事取り消しにいたる経緯のほか、特集「慰安婦問題を考える」の妥当性、日韓関係はじめ国際社会への報道の影響などについて検証し、2カ月程度をめどに具体的な提言を盛り込んだ報告をまとめていただきます。

慰安婦報道検証、第三者委の委員

朝日新聞社の慰安婦報道について検証する第三者委員会の委員の方々の主な経歴は次の通りです。



中込秀樹さん 元名古屋高裁長官＝委員長

なかごめ・ひでき 弁護士。1941年生まれ。さいたま地裁所長、名古屋高裁長官などを経て退官。みずほ銀行が暴力団組員らへの融資を放置した問題を調べる第三者委員会委員長を務めたほか、カネボウ化粧品白斑問題の調査も担当した。



岡本行夫さん 外交評論家

おかもと・ゆきお 外交評論家・マサチューセッツ工科大（MIT）シニアフェロー。1945年生まれ。外務省北米1課長などを経て退官。96～98年に沖縄担当、03～04年にイラク担当の首相補佐官。著書に「砂漠の戦争」など。



北岡伸一さん 国際大学学長

きたおか・しんいち 政治学者。国際大学学長。政策研究大学院大学教授。東大名誉教授。1948年生まれ。国連次席大使、「安全保障と防衛力に関する懇談会」座長、「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」座長代理なども務めた。



田原総一郎さん ジャーナリスト

たはら・そういちろう 評論家・ジャーナリスト。1934年生まれ。東京12チャンネルディレクターなどを経てフリーに。テレビの討論番組の司会役などで知られ、「朝まで生テレビ!」「激論! クロスファイア」などに出演している。



波多野澄雄さん 筑波大名誉教授

はたの・すみお 筑波大名誉教授。1947年生まれ。国立公文書館アジア歴史資料センター長。先の戦争にかかわる外交史の研究で知られる。外務省「日本外交文書」編纂（へんさん）委員会委員長。著書に「太平洋戦争とアジア外交」など。



林香里さん 東京大院情報学環教授

はやし・かおり ジャーナリズム・マスメディア研究者。1963年生まれ。ロイター通信東京支局記者、独バンベルク大客員研究員などを経て東京大院情報学環教授。著書に「〈オンナ・コドモ〉のジャーナリズム ケアの倫理とともに」など。



保阪正康さん ノンフィクション作家

ほさか・まさやす ノンフィクション作家。1939年生まれ。出版社勤務から著述活動に。日本の近現代史に関する研究、執筆をライフワークとしており、「昭和史を語り継ぐ会」を主宰している。著書に「昭和陸軍の研究」などがある。